|  |
| --- |
| ～のマネジメントに関する事例研究A Case Study of Management of近畿大学経済学部　　　　　　田中　敬一Kindai University Keiichi Tanaka |

はじめに

1.〇〇〇〇

　1-1.〇〇〇〇

　1-2.〇〇〇〇

2.〇〇〇〇

　2-1.〇〇〇〇

　(1)〇〇〇〇

　(2)〇〇〇〇

　2-2.〇〇〇〇

　(1)〇〇〇〇

　(2)〇〇〇〇

3. 〇〇〇〇

　3-1.〇〇〇〇

　3-2.〇〇〇〇

表1．表の作成例

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | シェア (%) |
| A社 | 45 |
| B社 | 30 |
| C社 | 25 |



図1．グラフの作成例

4. 〇〇〇〇

おわりに

参考文献

|  |
| --- |
| 報告論文の執筆要領 |
| （下記の内容を取り入れた雛形が上記のp.1～2となっています。できる限り統一した書式で「実践経営学研究」を作成したいと思いますので，可能な限り「論文雛形」をご利用頂き，下記の要領に合わすようにお願いいたします。） |
| （１）A4版横書き（1ページは40字×40行）で8～10ページ（図表、注釈、参考文献等を含む）。（２）1ページ目は、まず、下記の項目を明記し、□（罫線）で囲む（1行に入らない場合は、ポイントを下げて調整する）。①論題名（メインタイトル）和文14ポイント（明朝）、英文半角10.5ポイント（Century）②副題（サブタイトル）和文12ポイント（明朝）、英文半角10ポイント（Century）③所属・氏名和文11ポイント（明朝）、英文半角10.5ポイント（Century）（３）最終ページの36行目以降は余白とする。（４）本文構成は、「はじめに」、「章・節（１．、２．・・・）」、「項（(1)、(2)・・・）」等とする。（５）本文中に、目次、構成等の表示はしない。（６）本文は10.5ポイント（明朝）とし、引用部分の表示、図・表の出展表示、文末注釈については10ポイント（明朝）とする。（７）表のタイトルは「表1　・・・」とし、当該表の上部に表記する。（８）図のタイトルは「図1　・・・」とし、当該図の下部に表記する。（９）上記以外の項目については，執筆者の判断とする。 |